

池女会 & アイデア工房 事業シート

1. 事業シート概要

(1) 検討手法

これまで3回の池女会・アイデア工房を通じ、事業案が示された。

とりまとめに際しては、事業内容を誰に・何を・誰と・理由・手法・場所を軸にして行った。その際に、費用・効果・時間の三つの軸で実際の事業感を検討した。(下図参照)

検討項目その1

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 誰を対象として | 2. 何を (目的・内容) |
| 3. どうして (理由) | 4. 誰が・誰と一緒に (主体) |
| 5. どんな方法で (手法) | 6. どこで (場所) |

採点項目

☆採点 (それぞれ◎○△で判定)

1. 費用 (どれくらいかかるのか); 費用が少なければ◎
2. 効果 (課題を解決する大きさ); 効果が大きければ◎
3. 時間 (解決するまでどれくらいかかるのか); 時間が短ければ◎

(2) 池女会での事業案(2. 概略参照)

以下の計11事業が示された。

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 和プロジェクト | 7. 安全に遊べる公園 |
| 2. 届け! 池田町 | 8. 池田町情報発信 |
| 3. ハンディを持つ人々への理解向上 | 9. 達人から学べ |
| 4. 池田町の母、ワンストップ窓口
相談所 (保健センター) | 10. ショートフィルム、youtube、映画
で池田町をアピールしよう |
| 5. 各種子育てサークル設置 | 11. 地区の公園を地区で考えよう |
| 6. 男塾、イケダのイケメン | |

(3) アイデア工房での事業案 (3. 概略参照)

以下の計13事業が示された。

-
- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. みんなおいでよ池田町 | 7. 6次産業化 |
| 2. サイクリスト誘客プロジェクト | 8. 企業誘致と活性化 |
| 3. 池田山でのウォーキング・
トレッキングコースの見直し | 9. より積極的な情報発信 |
| 4. 街を明るくするプロジェクト | 10. ライフサポート強化事業 |
| 5. 寺子屋事業 | 11. 空き家ワンコインカフェ |
| 6. 生きる力を身に付ける | 12. 健康寿命延伸 |
| | 13. ちゃちゃまるタクシー |

2. 池女会事業リスト(概略)

No	領域	プロジェクト名	課題	対象	内容
1	結婚	・和プロジェクト	・気軽に参加出来るイベントが少ない	・町内外問わず若者 ・子育て世代までの町民	・男女問わず出会いが得られる
2	結婚	・届け！池田町	・情報発信力が弱い	・町内外の人みんな ・広報を見ない人	・池田町のことを知ってもらうメリット ・池田町の活動 ・政策やイベント
3	子育て	・ハンディを持つ人々への理解向上	・ハンディを持つ人々への理解不足	・ハンディを持つことその親 ・親同士・同級生(同じ世代の) ・福祉に興味を持つ子・サンビレッジに通学している学生	・健常者とハンディを持つ子のふれあい ・子どもたち同士の話題(親からではなく)・早い段階からできるサポート ・時間を共有することによってレッテルや偏見が変わる(高校生くらいから)
4	子育て	・池田町の母、ワンストップ窓口相談所(保健センター)	・どこに子育ての悩みを相談していいかわからない	・子育てに悩む母に対して	・町内で1人もしくは2人が受付のように町内の子供たちの状態を把握している、振ってくれる・データを管理する部門がこの人に言うとわかるよという相談所の入口・この人に相談すれば教えてくれる窓口 ・生活相談員の役割を子育ての分やでする人・保健センター・当事者(お母さんたち)
5	子育て	・各種子育てサークル設置	・親身になって自分に必要な相談ができない	・不登校当事者の親・双子を持つ親 ・ハンディを持つ子の親	情報がすべてのお母さんに伝わる(伝えてくれる)・誰に(同じ母親)にそのことを相談すればいいかわかる・母同志
6	子育て	・男塾、イケダのイケメン	・夫婦での子育て、意思疎通できていない ・父親の家事子育て参加少ない ・父親を自慢できない	・土日にお父さんの集まり「男塾」(今、大野町で進行中)	・男磨き ・母がここならどうぞ！という場所 ・お父さん自身が企画、学んで高めあう、カッコいいお父さんになる
7	子育て	・安全に遊べる公園	・安全に遊べる公園がない	・保育園未満児から大きい子 ・年齢でエリア分けが書いてあるといい	・だだっ広く見通しがよく、親の目が届く公園・未就園児が遊べる遊具が必要 ・年齢でエリアを分ける・木登り
8	日常生活A	・池田町情報発信	・池田町の情報が分からない、知らない ・発信できない	・池田町に住んでいる若者、10代、20代、30代 ・池田町に引っ越してきた人 ・学生(中・高・大) ・池田町を知りたい人	・食体験などの情報を知ってもらって遊びに来てもらう ・おいしいものイベント・パラ・ハング+温泉の組み合わせなど ・専門家の解説(古墳・史跡)・おいしい野菜(無農薬)を作っている人を知れる会
9	日常生活A	・達人から学べ	・多世代のつながりがあまりない	・池田町住民 ・子育て世帯 ・元気なお年寄り	・色々な分野の達人が教える
10	日常生活B	・ショートフィルム、youtube、映画で池田町をアピールしよう	・交流が弱い、オリジナルイベントが少ない	・町内の人 ・池田町の素敵な場所を知っている人	・町を再発見してもらう(場所、人、歴史 etc)・町のPR、外への発信
11	日常生活B	・地区の公園を地区で考えよう	・地区の公園に地元の声反映されていない	・その地区に住んでいる方、全員	・地区で話しあい、何が必要かを見つめなおす

3. アイデア工房事業リスト(概略)

No	領域	プロジェクト名	課題	対象	内容
1	移住 定住	・みんなおいでよ池田町	・定住促進のためのPR戦略、PRのための手段がない	・IT関係の仕事の人(企業) ・農業を希望する人 ・自営業したい人 ・高齢者 ・30代～40代、これから子供を育てる世代・若者	・対象者のためのPRをする ・移住定住をしてもらうための仕掛け
2	観光	・サイクリスト誘客プロジェクト	・池田山温泉を利用したサイクリストを呼びたい	・サイクリスト(自転車が好きの人) ・健康志向の人(年寄、若者)	・サイクルステーション(基地)設置 ・コース設定、整備
3	観光	・池田山でのウォーキング・トレッキングコースの見直し	・年間を通じて観光がない	・健康志向の人ならだれでも	・歴史と自然のミックスしたコースの設定 ・休憩所と展望台を作る ・PR用パンフレットの作成 ・収穫体験 ・年間通じてウォーキングできるコース設定
4	教育	・街を明るくするプロジェクト	・通学路の安全性が確保されていない	・夜間の歩行者	・防犯と交通安全 ・不審者対策
5	教育	・寺子屋事業	・不登校への理解が進まない	・学びたい人(全世代)	・その人にあつた目的による学び
6	教育	・生きる力を身に付ける	・学習環境が整っていない	・児童・生徒	・キャリア教育の推進・体験学習・人間として心を豊かにできるプログラム ・職場体験、生きる力を身に付ける、何をやるかを見つけるプログラム ・学校の福祉の勉強がたんなる施設体験になっていないかと思われる点の改善
7	産業	・6次産業化	・6次産業化が進んでいない	・農産物(生産者)	・マッチング会の実施
8	産業	・企業誘致と活性化	・企業誘致が進んでいない	・潜在的に池田町へ進出する希望を持っている会社 ・池田町内外の企業	・税収と雇用確保
9	産業	・より積極的な情報発信	・情報発信が弱い	・町内外の人	・池田町内の特産品を町内外で消費してもらう
10	福祉	・ライフサポート強化事業	・地域資源が活用されていない	・困りごとを持っている人	・近所で助け合うことで人間関係が深まる
11	福祉	・空き家ワンコインカフェ	・地域住民が日常的に集まる場所がない	・高齢者 ・子ども ・子育てママ	・運動 ・おしゃべり ・知恵の伝授
12	福祉	・健康寿命延伸	・健康寿命を延ばすことをしていない	・町民全員	・既にある活動からスタートする ・健康ICカードを作る【そして利用してもらう】 ・町民の健康寿命を延ばす ・保険料を下げる ・ウォーキング
13	福祉	・ちゃちゃまるタクシー	・外出や買い物が自由にできない人がいる	・移動に困っている人(高齢者、障がい者、妊婦)	・外出を支援

4. 採点評

傾向として、ハード系・各種経費が必要とされる事業には費用面・時間面で厳しい採点がされている。それ以外では、効果などで高い評価がされている。

<池女会>

No	領域	プロジェクト名	費用がかからない方が◎			効果が大きい方が◎			時間がかからない方が◎		
			◎	○	△	◎	○	△	◎	○	△
1	結婚	・和プロジェクト	1	4	0	5	0	0	0	3	2
2	結婚	・届け！池田町	3	1	1	5	0	0	3	2	0
3	子育て	・ハンディを持つ人々への理解向上	1	0	4	5	0	0	2	2	1
4	子育て	・池田町の母、ワンストップ窓口相談所(保健センター)	1	4	0	4	1	0	0	4	1
5	子育て	・各種子育てサークル設置	4	1	0	3	2	0	2	2	1
6	子育て	・男塾、イケダのイケメン	3	2	0	4	1	0	3	2	0
7	子育て	・安全に遊べる公園	0	1	4	4	1	0	0	0	5
8	日常生活 A	・池田町情報発信	0	3	0	1	1	3	3	0	1
9	日常生活 A	・達人から学べ	2	2	0	3	1	0	2	2	0
10	日常生活 B	・ショートフィルム、youtube、映画で池田町をアピールしよう	3	0	0	2	1	0	0	3	0
11	日常生活 B	・地区の公園を地区で考えよう	3	0	0	3	0	0	1	2	0

<アイデア工房>

No	領域	プロジェクト名	費用がかからない方が◎			効果が大きい方が◎			時間がかからない方が◎		
			◎	○	△	◎	○	△	◎	○	△
1	移住定住	・みんなおいでよ池田町	4	1	0	4	1	0	0	2	3
2	観光	・サイクリスト誘客プロジェクト	2	2	0	0	4	0	3	1	0
3	観光	・池田山でのウォーキング・トレッキングコースの見直し	4	0	0	2	2	0	4	0	0
4	教育	・街を明るくするプロジェクト	3	2	0	5	0	0	3	2	0
5	教育	・寺子屋事業	1	4	0	4	1	0	0	5	0
6	教育	・生きる力を身に付ける	3	2	0	4	1	0	1	4	0
7	産業	・6次産業化	3	3	0	5	1	0	0	5	1
8	産業	・企業誘致と活性化	3	3	0	6	0	0	0	3	3
9	産業	・より積極的な情報発信	5	1	0	4	2	0	6	0	0
10	福祉	・ライフサポート強化事業	4	1	0	5	0	0	1	3	1
11	福祉	・空き家ワンコインカフェ	0	4	1	3	1	1	0	4	1
12	福祉	・健康寿命延伸	3	0	2	4	1	0	0	4	1
13	福祉	・ちゃちゃまるタクシー	0	1	4	4	1	0	0	5	0

5の1 池女会事業シート詳細

No	1	2
領域	結婚	結婚
プロジェクト名	・和プロジェクト	・届け！池田町
課題	・気軽に参加出来るイベントが少ない	・情報発信力が弱い
対象	・町内外問わず若者 ・子育て世代までの町民	・町内外の人みんな ・広報を見ない人
内容	・男女問わず出会いが得られる	・池田町のことを知ってもらうメリット ・池田町の活動 ・政策やイベント
誰と	・当事者同世代	・店や団体→町 ・コンビニ→各施設やイベント等の主催者 ・情報誌 ・紙媒体(フリーペーパー) ・情報発信にあかるい人
どうして	・出会いがない	・池田町が魅力のある町だと知ってもらうため ・池田町に人が集まる町へ
手法	・同窓会 ・アウトレットイベント ・クラフト ・音楽、飲食など楽しいイベント(主催)	・ライン:気軽に受け答えもできる ・Facebook 発信のみ
場所	・地元 ・大津谷キャンプBBQ ・ワンダーピクニック関係のお店をやっている人	・コンビニ ・ドラッグストア ・コンビニ
	・ライブ(有料)(主催)	・ドラッグストアにて配布 A4表裏1枚

No	3
領域	子育て
プロジェクト名	・ハンディを持つ人々への理解向上
課題	・ハンディを持つ人々への理解不足
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンディを持つことその親 ・親同士 ・同級生(同じ世代の) ・福祉に興味を持つ子 ・サンビレッジに通学している学生
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健常者とハンディを持つ子のふれあい ・子どもたち同士の話題(親からではなく) ・早い段階からできるサポート ・時間を共有することによってレッテルや偏見が変わる(高校生くらいから)
誰と	
どうして	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの教室は2年生になると疎遠になる、行くきっかけがない ・ことばの教室に行くことを認めない親、恥ずかしいと思う ・知らないから ・理解するのはその子が大きくなった時になってしまうから
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式で知らない人ばかりになる(高校で離ればなれ) ・学生するとき(高校時)より同世代で交流できる、理解する場が欲しい ・支援学校と交流 ・町内のお店(民間)で開催(曜日決めて) ・高齢者とのふれあいレベル(就業訓練)
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・実体験を話す、聞く場所 ・土日開放、ふれあいの家 ・大室サロン(交流の会に使用している社協が借りている) ・町に貸し出せる場があれば【その場所】 ・西濃運輸医療生協(大垣、静里);対象は介護の人だが、家にいる人も使える ・ハンディを持つ親へ
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・右の回答理由 時間◎:全部ではなく一部 時間△:なわたりを固めるリサーチ・協力体制、対象が広い、解決に時間がかかる

No	4	5
領域	子育て	子育て
プロジェクト名	・池田町の母、ワンストップ窓口相談所 (保健センター)	・各種子育てサークル設置
課題	・どこに子育ての悩みを相談していいかがわからない	・親身になって自分に必要な相談ができない
対象	・子育てに悩む母に対して	・不登校当事者の親 ・双子を持つ親 ・ハンディを持つ子の親
内容	・町内で1人もしくは2人が受付のように町内の子供たちの状態を把握している、情報を振ってくれる ・データを管理する部門がこの人に言うところの入口 ・この人に相談すれば教えてくれる窓口 ・生活相談員の役割を子育ての分野で する人	・情報がすべてのお母さんに伝わる(伝えてくれる) ・誰に(同じ母親)にそのことを相談すればいいかわかる
誰と	・保健センター ・当事者(お母さんたち)	・母同士
どうして	・公立学校の先生や、役場では「引継ぎ」が途切れてしまう	・母親同士で先生に聞きにくい相談ができる ・聞けるだけでも同じ境遇、立場でわかり合える(保健センターの人とは違う)・母同志の情報交換が必要(個人的なつながりしかない) ・大垣など他の町にはあるけど行きにくい、池田に欲しい ・自分で調べないと手帳等があることを教えてくれない役場
手法	・行事カレンダー曜日ごと、毎週〇曜日はここにいるよという情報発信 ・その人のカルテのようなものを公開 ・公民館等で巡回 ・カフェスペース(用がなくてもお母さんが集まれる場)	・イベント開催、〇〇先生が来るよ！という相談日 ・当事者が集まれるよう有線で宣伝 ・ハンディがある子が生まれたら保健センターで登録するなど ・最初の入り口となるサークル
場所	・町内の民間飲食店(ナマステなど、施設を使用する費用を補助してほしい)	・保健センター

No	6	7
領域	子育て	子育て
プロジェクト名	・男塾、イケダのイケメン	・安全に遊べる公園
課題	・夫婦での子育て、意思疎通できていない ・父親の家事子育て参加少ない ・父親を自慢できない	・安全に遊べる公園がない
対象	・土日にお父さんの集まり「男塾」 (今、大野町で進行中)	・保育園未満児から大きい子
内容	・男磨き ・母がここならどうぞ！という場所 ・お父さん自身が企画、学んで高めあう、カッコいいお父さんになる	・年齢でエリア分けが書いてあるといい ・だっ広く見通しがよく、親の目が届く公園
誰と	・企画側、参加者側 ・お父さん主体・同士で	
どうして	・料理をして欲しいというより子育てに参加してほしい気持ちを持ってもらいたい	・未就園児が遊べる遊具が必要 ・年齢でエリアを分ける
手法	・お父さん変身→カッコいいとなってくれる ・酒を飲みながら語りあう	・木登り ・母親と未就園児
場所	・公民館	・おじいちゃんおばあちゃん(ゲートボールをしている)も一緒に見守れる ・スポーツ公園では広すぎる
その他	・父親の気持ちがついていけない、男になれない、なってこい！メニュー(イケメンになるための)	・道具が小さい子向けではない

No	8
領域	日常生活 A
プロジェクト名	・池田町情報発信
課題	・池田町の情報が分からない、知らない ・発信できない
対象	・池田町に住んでいる若者、10代、20代、30代 ・池田町に引っ越してきた人 ・学生(中・高・大) ・池田町を知りたい人
内容	・食体験などの情報を知ってもらって遊びに来てもらう ・おいしいものイベント ・パラ・ハング+温泉の組み合わせなど ・専門家の解説(古墳・史跡) ・おいしい野菜(無農薬)を作っている人を知れる会
誰と	・主婦(情報をもった食に興味のある人、子供の気持ちもわかる人)
どうして	・魅力があるのに知られていない ・体験したくても情報がない
手法	・池田町口コミサイト ・池田町HP ・フェイスブック、広めたいこと、 発信する手段 ・地元の人のお口コミ、空き家情報 ・聞き取りをしてくれるコンシェルジェのような人 ・体験した人の感想 ・池田の歩き方(るるぶ、じゃらんの池田版) ・池田町の情報誌(クーポン、クチコミ) ・個人発信の企業* ・イベントなどをまとめたもの ・中学生(学生)に町内のアピールパンフレットを作ってもらい、学校に置いてもらい、学生も町の魅力を知ることができる
場所	・まず地区公民館単位→地区に後援がいくつあるかを確認する →わかれて検討に入る

No	9
領域	日常生活 A
プロジェクト名	・達人から学べ
課題	・多世代のつながりがあまりない
対象	・池田町住民 ・子育て世帯 ・元気なお年寄り
内容	・色々な分野の達人が教える
誰と	・役場の人と一緒に活動する
どうして	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも相談できる気軽なイベントと知り合いたいから ・教えるほうも生き生きする ・自分から教室にはいきづらい ・地区の役があたると知り合えるが、それ以外では交流することがない ・コミュニティーや多世代のつながりがない
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクワク体験(色々なことの体験) ・1番人気の講座を体験 ・池田町のことを知れる池田町ヒミツ会議 ・コミュニティーバスに乗って池田町を知ろう ・中学生や高校生が動く大人(保護者)などが興味を持ち、参加しやすい。 ・体験教室に来た人に次回の案内をする。 ・地区の教室などで1回限りの体験(気軽なものがほしい) ・新しく町民になった人に知ってもらえるツアー ・最近の流行を知ろう!という会 ・多世代交流、お年寄りが子供に教えるもちつき、流しそうめんなど ・いつでもきていいよというオープンなスタイル親近感が持てる形式 ・ものづくり、陶芸、おいしいお茶の入れ方教室
場所	・町内公民館など

No	8	9
領域	日常生活 B	日常生活 B
プロジェクト名	・ショートフィルム、youtube、映画で池田町をアピールしよう	・地区の公園を地区で考えよう
課題	・交流が弱い、オリジナルイベントが少ない	・地区の公園に地元の声が反映されていない
対象	・町内の人 ・池田町の素敵な場所を知っている人	・その地区に住んでいる方、全員
内容	・町を再発見してもらう(場所、人、歴史 etc) ・町のPR、外への発信	・地区で話しあい、何が必要かを見つめなおす
誰と	・池田町の魅力をアピールしたいと思っている人	・リーダー、子育てが終わった方(女性→さらに上の世代とのつながりもある) ・子育て中(女性)、参加したい方(募集)
どうして	・魅力を知ってほしい ・アピール不足、魅力が分からないから	・公園を大切にしたいから、多世代交流の場になってほしい
手法	・動画を公募してみる。写真をつないで動画にする。 ・公募・コマーシャル部門を作る(中高生部門)	・募集 ・役場からの投げかけではなく、池女からの提案としては進める ・思いをうまく伝える ・自分たちでやろう！と思えるようなフレンドリーなチラシを作る
場所	・町内の素敵ポイント:歴史をアピールするのも面白い ・熊野神社など:映画のロケ地として活用してみてもいい？	

5の2 アイデア工房事業シート詳細

No	1
領域	移住定住
プロジェクト名	・みんなおいでよ池田町
課題	・定住促進のためのPR戦略、PRのための手段がない
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・IT関係の仕事の人(企業) ・農業を希望する人 ・自営業したい人 ・高齢者 ・30代～40代、これから子供を育てる世代 ・若者
内容	・対象者のためのPRをする・移住定住をしてもらうための仕掛け
誰と	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・NPO ・移住体験者 ・仲良しグループ(興味ある人)
どうして	<ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やすため ・定住者を増やす ・池田町をささえるために(人口を増やす)
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金制度 ・HP ・SNS ・マスコミ(ケーブルテレビ) ・フリーペーパー ・新聞 ・相談窓口 ・自然 ・補助金 ・農業 ・移住者会議 ・池田町見学ツアー ・コンシェルジェ(案内人) ・空き家情報をまとめる→PR ・移住したい人と地域の人を結び付ける人 ・雇用の場があることが大事なので雇用確保施策 ・子育てしやすい環境づくり ・大垣、名古屋で働けるというアピール ・養老鉄道を残すこと ・子育て情報 ・生活レベルのよさ(それほど田舎じゃない) ・金山から1時間であることをPR ・大垣との違いを明確化 ・子育て補助金 ・学校が広いことをアピール ・自然もある、散歩もできることをアピール ・畑づくり、米作り、地域の人も触れ合えることをアピール ・安全安心な見守り隊などの地域の目があることをアピール ・子どもを安全安心に育てられているというアピール
場所	

No	2	3
領域	観光	観光
プロジェクト名	・サイクリスト誘客プロジェクト	・池田山でのウォーキング・トレッキングコースの見直し
課題	・池田山温泉を利用したサイクリストを呼びたい	・年間を通じて観光がない
対象	・サイクリスト(自転車が好きな人)	・健康志向の人ならだれでも
内容	・健康志向の人(年寄、若者)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と自然のミックスしたコースの設定・年間通じてウォーキングできるコース設定 ・休憩所と展望台を作る ・PR用パンフレットの作成 ・収穫体験
誰と	・サイクルステーション(基地)設置・コース設定、整備	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー(モンベル) ・池田町役場 ・山の持ち主 ・観光ボランティア ・農業者(生産者)
どうして	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者(依頼する) ・プロモーション会社 	・ウォーキング・トレッキングをやりたいとおもっている人が多いと思われる
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の自転車部品メーカー(神戸町) ・池田町サイクルクラブ 	・ウォーキングに関するイベントで声かけと魅力的なPR
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・大学のサイクル関連のクラブ ・今やっている地方の人と連携する方向 	<ul style="list-style-type: none"> ・池田山と温泉 ・山麓道路

No	4	5
領域	教育	教育
プロジェクト名	・街を明るくするプロジェクト	・寺子屋事業
課題	・通学路の安全性が確保されていない	・不登校への理解が進まない
対象	・夜間の歩行者	・学びたい人(全世代)
内容	・防犯と交通安全・不審者対策	・その人にあつた目的による学び
誰と	・事業主 ・地域住民	・すべての人が利用できるようカウンセラーが常駐 ・退職した先生(にお願いする)
どうして	・街灯が少ないから	・存在しないから
手法	・玄関先の電燈(イルミネーション)を夜間の時間を決めて点灯する	・フリースクール的な学びの場 ・いこいの場(多世代) ・地域や今いる人材を利用した学びの場 ・地域と学校のつながり
場所	・全町	・古民家(空き家、少し大きめ) ・公共施設 ・空調が入った学校、図書館 ・サマースクール(大学生を募集して教えてもらう) ・空き家

No	6	7
領域	教育	産業
プロジェクト名	・生きる力を身に付ける	・6次産業化
課題	・学習環境が整っていない	・6次産業化が進んでいない
対象	・児童・生徒	・農産物(生産者)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進 ・体験学習 ・人間として心を豊かにできるプログラム ・職場体験、生きる力を身に付ける、何をやるかを見つけるプログラム ・学校の福祉の勉強がたんなる施設体験になっていないかと思われる点の改善 	マッチング会の実施
誰と		<ul style="list-style-type: none"> ・生産者 ・加工業者(販売) ・町
どうして	<ul style="list-style-type: none"> ・今の教育では不十分、機会がない ・大人が何をしているかわからない ・働く姿を見せる経験から体験の中で命の大切さをわかってもらう必要があるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品化して付加価値を高めるため ・収入アップのため ・マッチング会を行う
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・見て知って体験へつなげるプログラム ・職人、働く人をいろんな体験 ・日曜授業カリキュラム ・子を地域ぐるみ、地域で育てるプログラム ・中学生を対象にした葬式体験 ・心の学びや思いやり心を育てる学校の福祉教育 ・会社と連携したビデオ学習 ・大人とのふれあい交流の場 ・地元の会社を地元へ残るために魅力を発信 	
場所		・町

No	8	9
領域	産業	産業
プロジェクト名	・企業誘致と活性化	・より積極的な情報発信
課題	・企業誘致が進んでいない	・情報発信が弱い
対象	・潜在的に池田町へ進出する希望のを持っている会社 ・池田町内外の企業	・町内外の人
内容	・税込と雇用確保	・池田町内の特産品を町内外で消費してもらう
誰と	・役場 ・企業経営の経験者	・生産者と役場以外のスタッフ ・ITが分かる(起業したい)若者 ・町(音頭取り、バックアップ)
どうして	・住民サービスの向上 ・町人口の流出を止めるため	・知られていないから知らせるため
手法	・原因分析 ・情報収集	・SNS(IT)を使用
場所	・〇〇プロジェクトチーム(行政)	・産業課

No	10	11
領域	福祉	福祉
プロジェクト名	・ライフサポート強化事業	・空き家ワンコインカフェ
課題	・地域資源が活用されていない	・地域住民が日常的に集まる場所がない
対象	・困りごとを持っている人	・高齢者 ・子ども ・子育てママ
内容	・近所で助け合うことで人間関係が深まる	・運動 ・おしゃべり ・知恵の伝授
誰と	・民生委員 ・福祉委員	・人の役に立ちたい人
どうして	・人間関係が希薄になっている ・ライフサポート(身近な人に助けてもらえない)	・日常的に集まる場所がない
手法	・ポイント制	・ワンコインカフェ運営形態 空き家＝町負担 運営費＝ワンコイン
場所	・町内全域	・空き家 ・空き店舗がある地域

No	12	13
領域	福祉	福祉
プロジェクト名	・健康寿命延伸	・ちゃちゃまるタクシー
課題	・健康寿命を延ばすことをしていない	・外出や買い物が自由にできない人がいる
対象	・町民全員	・移動に困っている人(高齢者、障がい者、妊婦)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・既にある活動からスタートする ・健康ICカードを作り、そして利用してもらう ・町民の健康寿命を延ばす ・保険料を下げる ・ウォーキング 	・外出を支援
誰と	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・活動している団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・町 ・民間業者 ・NPO法人 ・社協
どうして	・保険料が高い	・移動に困っている人がいる
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に参加したらポイント付与(町が認定) ・料理で健康になってもらうように食事への意識づけ ・運動・イベントポイント制に ・健康と食事について学べるセミナーに参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送運営形態 設備費用＝町 運営費＝事業者
場所	・町内全域	<ul style="list-style-type: none"> ・町内 ・町外(医療機関、公的行政機関)

以上